育てあい、育ちあう

広報 NO9

わかば

２０２２年秋号

（2022年11月発行）

社会福祉法人わかば会

盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木浩太郎
TEL：０１９－６１３－５６１１
fax：０１９－６１３－５６１２
https//www.wakaba-kai.or.jp

法人の理念

＊ 社会福祉法人わかば会は、子どもの人権を尊重し保護者と協力しながらその健やかな成長のために尽くすとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境づくりに努めます。
＊ 未来の主人公となる子ども達の権利を尊重し、豊かな乳幼児期を保障することを基本とし、保護者の皆様と一緒に保育を創っていくことを大切にしてまいります。
＊ 子どもが本来持っている能力を引出し、豊かな感性を育み、一人ひとりが仲間の中でゆっくりじっくりと自分を育てていけるような保育環境づくりに努めます。
＊ 子育て支援や地域福祉の向上を目指し、地域の子育ての拠点となるよう努めます。

法人運営施設

■わかば保育園　（６６１－３１０３）
■北松園風の子保育園　（６６３－２２１７）
■本宮保育園　（６３６－１４４６）
■うえだ保育園　（６６１－１２３４）
■宇宙学童クラブ　（６６２－１１１３）

うえだ保育園５歳児
：姫神山頂上

子どもにやさしい社会に大転換を

コロナ禍の保育も3年になり保育の風景も変わってきました。就職して3年目の職員は、もはやコロナ前の保育を知りません。「わかばの保育」を語ってもひと昔前の遠い世界のように感じています。

感染防止のために、小さい子と一緒にリズムができない、皆で大きな声で歌えない、食事もパーティション越しだし、異年齢交流も一時停止。行事をするにも最小の人数。皆で集って大声で応援する運動会も発表会も知らないのです。そんな日常でしたが、感染の状況を見ながらゆるりゆるりと緩めているものもあります。

朝、夕の送迎についても段階的に、保護者が保育園の中に入って荷物の準備や帰り支度ができるようにしました。又、「大バザー」については3年実施できていませんでしたが、今年は、「ミニバザー」に規模を縮小して開催することにしました。わかば名物「お餅コーナー」「子ども服コーナー」「産直コーナー」を企画して保護者の皆さんと共に準備万端整えましたが・・・残念・・・（急遽、ミニミニバザーを開催しました。）

さて、秋は署名の季節です。70年以上変わらない保育士の配置基準の見直しを求め「すべての子どもにより良い保育」の実現のため力を合わせて活動しています。

又、「#こどもたちにもうひとり保育士を！」の運動では、一人ひとりの子どもの声に耳を傾けられる保育、災害などいざという時に子どもの命を守れる保育、保育者も保護者も「よりよい保育」の実現を求め、運動を呼びかけています。先進国の中でも著しく低い日本の配置基準では「子どもの命」と「ゆとりある発達」が守られません。

愛知から発信したこの運動は、多くの人の共感を得て、今、大きなうねりになろうとしています。子どもたちの未来のために。

わかば保育園
園長　山蔭悦子

姫神山登山

わかば保育園：「もう一息！がんばれ！」

風の子保育園
「全身を使っての岩場

本宮保育園：クジラ岩で一休み

うえだ保育園

今年は、様々なことに初めて挑戦してきました。その中の一つ、『姫神山登山』は、法人設立当初から毎年法人内の年長児が取り組んでいるものです。

初めての取り組みという事でこども達と姫神山探しに散歩へでかけました。高松の池付近の神庭山の木々の間からようやく頂上を見つける事ができました。

今年度は初めての挑戦という事で、一本杉コースではなく田代口コースからの出発となりました。

天気も良く絶好の登山日和！山の中はたくさんの木々に囲まれ、涼しくて登りやすく元気いっぱいに出発しましたが、次々と出てくる急な斜面や長い登り坂に、徐々に体力も奪われ諦めそうになりましたが、「ここはすべるからきをつけてね！」「おーい！そらが、近くにみえてきたよ！」など、みんなで声を掛け合い１１２３ｍの姫神山頂上に登ることができました。

頂上から見える景色に感動！３６０度大パノラマの絶景を目に焼き付ける事が出来ました。

初めての挑戦でしたが、２０名の仲間と一緒に励まし合いながら目標を達成し、集団としての意識もさらに高まってきています。

わかば保育園：「一本杉みんなで囲んだよ」

おいしい秋

収穫の秋

親子で一緒に

「いらっしゃいませ。
どれにしますか？」

「＃子どもたちにもう一人保育士を！」
ー署名活動よりー

わかば保育園　親子おたのしみ会（ミニバザー）

今年の秋は、保育参加を兼ねて「秋の歩こう会」と「親子リズム・懇談会」「ミニバザー」を計画しましたが、残念ながら直前で中止となってしまいました。

この日に向けて保護者会の皆さんと一緒に準備を進め、子ども達も楽しみにしていたので何とかできないものかと考え『ミニミニバザー』を前日夕方に開催することにしました。

保護者会で準備した産直野菜、子どもたちに人気のポップコーン、保育園からは保護者会からいただいたもち米を使って炊き込みご飯やパウンドケーキ、クッキーを用意。その他に楊枝入れや藍の種、南蛮みそなどの寄付もあり、お迎え時はたくさんの方に参加いただき賑わいを見せました。同時により良い保育を求める「＃もう一人保育士を！」の署名にも取り組みました。

わかばのバザーの雰囲気をほんの少し感じたひとときでした。

本宮保育園　親子でりんご狩り

春の親子遠足が中止になって3年目、何か保護者の方と一緒に保育園の思い出をつくりたいと秋のりんご狩りを「5歳児親子で楽しもう」と企画しました。

平日でしたが沢山の保護者の方に参加して頂きました。

秋晴れの中、長沼りんご園までの道中を親子で歩き、ジョナゴールド・シナノスイート・紅玉・早生ふじ・もりのかがやきの5種類のりんごから親子で2種類を選んで収穫を楽しみました。

短い時間でしたがみんなの笑顔が輝き、あらためて親子行事の大切さを実感しました。

親子りんご狩り

北松園風の子保育園　親子で歩こう会

毎年恒例の「歩こう会」が、2年ぶりに4・5歳児は親子で復活しました。

たいよう・つばさ組は親子で博物館から四十四田公園まで松園の自然を満喫してきました。

ひかり・そら組は、ひょうたん池へ、すぎのこ・つくしんぼ組は隣の公園へ行ってきました。

秋の自然を発見したり、思いきり身体を動かしたり、あっという間の時間でした。

園庭では、サンマ焼きも同時開催。口も目もついている丸ごと一匹のサンマに驚きの子どもたち。炭火焼きの良い香りが漂います。

そして、かまどでは給食さん特製「せんべい汁」がグツグツ湯気をたてて、出来上がり。

昼食は、丸ごと一匹のサンマやできたてのせんべい汁を味わいお腹も心も満たされた1日でした。

「親子でいいものみ～っけ！」

焼きたてのサンマとせんべい汁
を味わいました

宇宙学童クラブ

日に日に寒さを感じるのと同時に日が暮れるのが一段と早くなってきました。

学童の子どもたちは「今日、下公行ける？」「もう公園行った？」と短い時間でも公園で遊ぶことが楽しみです。宿題が後回しになってしまうこともありますが、遊ぶ時間はしっかり遊ぶことを大切にしています。

今年は、新入児童11名が加わり現在51名の子どもたちが学童で過ごしています。夏休みには、『まほら岩手』でのいわなつかみや学童内での染物体験を行いました。

保育園の縁日ごっこにも参加しオープニングでは皿回しや一輪車、大縄を披露しました。当日までがんばって練習していた子どもたち。失敗しても何度も挑戦する姿に感動しました。

秋には、学習発表会の振替休日を利用しての高松公園遠足。天気も良く最高の遠足日和。遠い距離でも子どもたちの体力は尽きません。そして、今年の6年生の社会体験旅行は『つどいの森』でバンガローを借りての一泊旅行。大人が思っている以上に子ども同士のつながりはとても強いものです。

これからも子ども同士の関係づくりを大事にし楽しみながら過ごしていきたいと思います。

「焼きマシュマロ美味しかった！」

高松公園遠足
「池にはたくさん白鳥がいたよ」